

「歯みがきでクラスター発生」の報道に関して

12月12日一部の報道機関で上記の内容で報道されました。
報道では最終的な結論ではありませんでしたが、
「職場で同じ時間に複数人の人が磨いていた」との内容でした。
誤解を招く恐れもあり、補足説明を致します。

ここで注意して頂きたい点は、
「**歯みがきが悪い**」のではなく、**場所と方法**の問題です。

ご家庭以外での歯みがき 3つのポイント

- ① 歯みがきの際は**お口は閉じて**（飛沫の拡散防止）
（出来るだけ同時でなく、時間をずらして、密集せずに）



- ② 洗面所では、**勢いよく吐き出さない**（かがんで行う）

- ③ 歯みがきを終えて、**歯ブラシは？**
→ **ブラシ部は水で流すだけにする。**
→ **ブラシを手で洗った場合、**
手を洗ってから蛇口を閉める。



ご家庭内では

基本的には同じですが、あえて追加するなら、共用する場合、
歯磨剤のチューブの先が歯ブラシに接触しないように、
保管する歯ブラシ同士が接触しないようにして下さい。
しかし、家庭での一番の感染対策は「**持ち込まないこと**」です。

お口の中を清潔に保つことは、高齢者の誤嚥性肺炎の防止には大変重要です。
特に歯周病原細菌を減らすことによって、通常のかぜやインフルエンザの
ウイルスが細胞へ付着することを阻害できることが明らかになっています。
お口のケアは継続してお願いします。